

基本目標2 みんなで働き方を考えよう(基本施策4～6)

基本施策4 就労環境の充実

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
18	再就職相談	商工課	継続	<p>実施時期:年間 対象:再就職を希望する女性等 目的:出産・子育てといったライフステージを経た女性が、労働の場に復帰できるように支援を行う。 内容:ワークサポート三条(三条市就労支援相談室)の職業相談員による就労支援及び情報提供を行うとともに、再就職を目指す子育て中の女性を対象にしたセミナー等を開催し、再就職に対する不安解消やアドバイスを行う。 前年度からの改善点:ママセミナーの参加者アンケートにより、内容の充実を図る。 目標値:相談者数 延べ200人 予算額:3,214千円</p>	<p>【実施状況】参加者数:199人(うち男性62人、女性137人) 内容:ワークサポート三条(三条市就労支援相談室)の就労支援相談員が就労支援及び情報提供を行っている。また、再就職を目指す子育て中の女性を対象に「就労相談応援デー」を4回開催(6月、9月、10月、12月実施済)し、2月にママセミナー(座談会形式)を1回開催予定など、再就職に対する不安解消、アドバイスを行っている。 就労相談応援デー参加人数(6月:1名、9月:6名、10月:0名、12月:4名) 工夫した点:子育て中又はこれから親になる方を対象とした「就労相談応援デー」を4回設け、労働の場への復帰に向けた不安の解消やアドバイスを行った。 目標値に対する結果:199人(1月末現在) 決算(見込)額:3,214千円</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、開催方法の工夫を図った。 今年度からZoomによるオンライン相談を開始し、応募書類の確認を従来の対面方式ではなく、メールによるやり取りも可能とした。 対面以外の相談方法の利用に関する周知を図り、相談方法の選択肢を増やすことで、再就職を希望する女性等がより相談しやすい環境を作り、相談者数の増加に繋げる。</p>	<p>A 1…3点 2…3点 3…3点 4…1点 5…3点 6…3点 合計 16/18=88.8%</p>
19	就職ガイダンス	商工課	継続	<p>実施時期:未定 対象:事業所、再就職を希望する女性等 目的:出産・子育てといったライフステージを経た女性が、労働の場に復帰できるように支援を行う。 内容:関係機関と連携し、女性が応募しやすい職種に限定した就職ガイダンス等を実施する。 前年度からの改善点:三条おしごとナビをはじめ、様々な媒体を活用して広く周知を行い、参加者増加につなげたい。 目標値:年2回開催</p>	<p>【実施状況】今年度から新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン形式のガイダンス開催の見込みとなったが、当市への後援依頼は来なかった。 ※主催は新潟日報。例年後援を行い、幅広く周知を行っていた。 参加者数:— 内容:— 工夫した点:— 目標値に対する結果:—</p>	<p>例年同様に、「看護職就職(再就職)応援ガイダンス」について後援申請があった場合には、引き続き後援し、広く周知を行う。</p>	<p>D 1…— 2…— 3…— 4…— 5…— 6…—</p>

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
20	創業塾pontekia	商工課	継続	<p>実施時期:8月～12月 対象:市内に創業をお考えの方又は創業の知識を身に付けたい方 目的:女性や若者の創業を支援するため、創業希望者や既出店者が経営についてのノウハウを学ぶ場を提供し、長く続く店づくりに寄与する。 内容:女性や若者が創業前に必要知識を学ぶことで、長く続く店づくりを支援する。(創業の心構え、先輩創業者体験談、創業の基礎知識、店舗視察、顧客の獲得方法、金融相談会、創業資金について、ビジネスプランの作成及び完成、プレゼンテーション) 前年度からの改善点:チラシやポスターの掲出箇所を増やすなど、より多くの人の目に触れるような効果的な広報・啓発を行う。商工課所管施設の中で周知できていない施設がないように地域経営課と連携する。 目標値:受講生15人以上 予算額:906千円</p>	<p>【実施状況】 参加者数:21人(うち男性11人、女性10人) 内容:女性や若者を中心とした創業を支援するため、創業希望者や既創業者が経営についてのノウハウを学ぶ場を提供し、長く続く会社づくりを支援した。工夫した点:保育ルームの設置により、女性の受講生が安心して受講できる環境を整えた。(説明会時の利用実績あり) 目標値に対する結果:受講生21人で目標値達成 決算額:647千円</p>	<p>新型コロナウイルス感染症流行拡大の影響により、先輩受講生との交流の機会を設けることができなかった。 来年度は先輩受講生と現役受講生が合同で出店できるイベントなど、交流の機会を設ける。</p>	<p>A 1…3点 2…3点 3…3点 4…3点 5…3点 6…3点 合計 18/18=89%</p>
21	働く女性のためのスキルアップセミナー(再掲)	地域経営課	継続	No.1に同じ			
22	求人求職マッチング事業	商工課	継続	<p>実施時期:9月 対象:事業所 目的:男性も女性も子育てしながら働きやすい環境が整えられるよう事業所における両立支援の理解を深める。 内容:事業所における人材不足解消のため、子育て等のために離職した女性の雇用のために求められるニーズを市内企業に提供するセミナーを開催する。 前年度からの改善点:参加者を増やすため、周知方法を工夫する。 目標値:年1回開催 予算額:181千円※学生・保護者対象バスツアー分含む</p>	<p>【実施状況】 実施日:令和3年2月22日(月) ※オンラインにより実施 参加人数:5事業所 内容:「新たな人材確保」、「今働いている人材の確保(定着)」をテーマに開催した。働き方の多様性について、女性の雇用や、男性を含めた育児休暇の取得のためには、働く選択肢を増やすことが必要であり、ワークスタイルにどのような働き方のオプションを設けると良いのか例示しながら情報提供を行った。 工夫した点:女性の活躍は、ただ管理職を増やすことが良いのではなく、育児や介護等に携わりながら働くことができる職場であるために、どんなことを考慮したらよいのか、例示してもらった。 目標値に対する結果:1回開催で目標値達成 決算額:0千円</p>	<p>今回はオンラインのみとしたが、そのような環境がない事業所からの申込みもあったため、開催方法を検討し、参加事業所の増加につなげる。</p>	<p>A 1…3点 2…1点 3…3点 4…3点 5…3点 6…1点 合計 13/15=87%</p>

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
23	雇用・労働の場における男女共同参画に関する広報・啓発活動	商工課	継続	<p>実施時期:年間 対象:事業所、市民等 目的:雇用、労働の場における男女共同参画の推進を図る。 内容:セクシャル・ハラスメント防止、雇用機会の均等、両立支援等引き続き(公財)21世紀職業財団、(公財)新潟県女性財団等関連団体のホームページへのリンク等、広報・啓発を行う。 前年度からの改善点:チラシやポスターの掲出箇所を増やすなど、より多くの人目に触れるような効果的な広報・啓発を行う。商工課所管施設の中で周知できていない施設がないように地域経営課と連携する。 目標値:ホームページ等での周知のほか、事業所宛に年2回以上配布する。</p>	<p>【実施状況】 参加人数:一人 内容:国、県等の男女共同参画に関する情報を収集しホームページに掲載して情報提供を行っている。また、関連団体から送付されるチラシやポスターの掲出を庁舎だけではなく、働く若者が集まるソレイユ三条でも行い、より広く周知を図っている。4月発行の三条市勤労者福祉共済の便りに、ハッピーパートナー企業一覧と募集についての記事を掲載し加入事業所会員(1月1日現在:297社・3,238人)に配布、周知を行った。 工夫した点:チラシやポスターは、当課所管施設の考え得る場所には掲出しており、工夫はできなかった。 目標値に対する結果:事業所宛の配布が1回で、目標値未達成</p>	<p>三条市勤労者福祉共済の会員向けの共済だよりは年4回発行していることから、ハッピー・パートナー企業一覧の記事を通年で掲載することとし、目に触れる機会を増やすよう改善する。</p>	<p>B 1…- 2…- 3…3点 4…3点 5…1点 6…1点 合計 8/12=66.7%</p>

基本施策5 子育て環境の充実

No	事業名	担当課等	継続	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
24	多様な保育ニーズへの対応	子育て支援課	継続	<p>実施時期: 通年 対象: 市民全般 目的: 子育てを支援していく環境の充実を図り、女性の社会参加に繋げる。 内容: 女性が働きながら、安心して子育てできる環境を整えるため、保育所での乳児保育や早朝・延長保育、すまいるランド・あそぼって、子育て支援センターでの一時預かり等を継続して実施する。また、新潟県済生会三条病院附属保育園たんぼぼ内の病児・病後児保育ルームなのはなで、病児・病後児保育事業を継続実施し、多様化する保育サービスの充実に努めていく。 前年度からの改善点: 多様化する保育ニーズを把握し継続して事業を行っていく。 予算額: 3,120,486千円</p>	<p>【実施状況】 内容: 多様な保育ニーズに対応するため、乳児保育や早朝・延長保育、すまいるランド・あそぼって、子育て支援センターでの一時預かり等を実施した。また、新潟県済生会三条病院附属保育園たんぼぼ内の病児・病後児保育ルームなのはなで、病児・病後児保育事業を継続実施している。 決算(見込)額: 3,120,486千円</p>	<p>さらなる保育ニーズに対応するため保育士の確保に努める。</p>	<p>A 1…— 2…— 3…— 4…— 5…— 6…3点 合計 3/3=100%</p>
25	子どもの放課後等の居場所の確保	子育て支援課	継続	<p>実施時期: 通年 対象: 小学生～高校生 目的: 安心して働くことのできる環境を整え、女性の社会参加につなげる。 内容: 小学生の放課後等の居場所として、放課後児童クラブ、放課後子ども教室を継続して実施する。また、中・高校生を対象に夏休み期間に公共施設の開放を行う。また、安心して子どもが過ごすための放課後の居場所づくりについては、小学校における体育館等の開放による居場所の確保を進める。 前年度からの改善点: 地域の状況を(施設や人材等)を整理し、小学校や関係機関との具体的な協議を行い、検討していく。 目標値: 児童クラブの登録者数の増加 予算額: 3,254千円(放課後子ども教室推進事業費) 220,494千円(児童館等施設運営費)</p>	<p>【実施状況】内容: ・児童クラブは平成29年度から受け入れ対象児童を3年生から4年生までに拡充等により、登録児童が増加していることから、女性の社会参画の一助となっている。(令和2年1月末(969人)と令和3年1月末(978人)の比較による) ・放課後子ども教室(令和3年1月末時点)5ヶ所、実施回数延べ120回、参加人数2,835人 工夫した点: 女性が安心して働ける環境を整えるため、子どもの受入日等について、相談に応じ、働きやすい環境づくりに協力している。 目標値に対する結果: 児童クラブの登録者数が前年度と比較して9人増加したため目標値達成(969人→978人) 決算(見込)額: 1,350千円(放課後子ども教室推進事業費決算見額)、195,000千円(児童館等施設運営費決算見込額)</p>	<p>子どもに留守番をさせることに不安を感じる保護者の相談に応じ、必要に応じて、5年生以上の児童も保育している。 今後も保護者が安心して働くことができるよう、児童クラブの運営に努める。</p>	<p>A 1…— 2…— 3…— 4…3点 5…— 6…2点 合計 5/6=83.3%</p>

No	事業名	担当課等	継続	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
26	育児講座(再掲)	子育て支援課	継続	No.12に同じ			
27	ファミリーサポート提供会員養成講座	子育て支援課	継続	<p>実施時期:11月～12月(予定)</p> <p>対象:市民</p> <p>目的:社会全体で子育てを支援していく環境を作り、女性にかかる子育ての負担を軽減する。</p> <p>内容:民間団体等において子どもを預かる方(ファミリーサポート提供会員)を養成するための講座を実施する。また、既会員等の資質向上のためのスキルアップ研修と兼ねて実施する。</p> <p>前年度からの改善点:受講者確保のため、参加しやすい日程や実施場所を検討する。また、チラシなどの表現に注意する。</p> <p>目標値:全受講者のうち、新規受講者の割合を25%以上とする。</p> <p>予算額:97千円</p>	<p>【実施状況】</p> <p>参加人数:17人(うち女性17人)</p> <p>内容:新規提供会員の養成及び既会員等のスキルアップ研修として、子育てに活かせる実践的な内容で講座を開催し、資質の向上を図った。また、昨年度の引き続き、参加者の半数以上が新規受講者であったため、安心して子どもを預けられる環境づくりの土壌を育てることができた。</p> <p>工夫した点:心肺蘇生法等を学ぶ「普通救命講習Ⅰ」の受講のほか、小児科医による講座を行うに当たり、受講者の聞きたい内容を事前に講師に伝え講義内容に反映するなど、受講後の生活により役立つ講座内容になるよう努めた。</p> <p>目標値に対する結果:新規受講者割合76%で目標値達成</p> <p>決算額:29千円</p>	引き続き、子育て支援団体への登録へ繋げるため、内容の充実はもちろん、時期や回数など、受講者数増へ向けて参加しやすい工夫が必要である。	A 1…3点 2…3点 3…3点 4…2点 5…3点 6…2点 合計 16/18=88.8%